

支部だより

珠の冴え

平成29年1月26日

第12号



発行所

公益社団法人 全国珠算教育連盟

青森県支部

所在地 三沢市中央町4丁目4-6

☎0176(53)3662

支部長 斎藤 隆

責任者 福士隆行



新年にあたり



全珠連青森県支部長 斎藤 隆

明けましておめでとうございます。

連盟の平成27年度の検定受験者数の集計で、当支部は『珠算検定・9位』『暗算検定・16位』『準級検定・2位』『フラッシュ暗算検定・2位』となり、どの検定においても好順位にいる事を強く感じており、会員の皆様のご協力に感謝申し上げます。

さて、昨年はフラッシュ暗算に対する知識を高めるべく講習会を2度実施しましたが、今年においても講習を行い、フラッシュ暗算への理解を広げたいと考えています。また、本部が推進している『会員の資質を高める』施策として行われている、検定試験委員制度や正会員指導教場制度の導入については、講習会の受講・珠算教育士の取得・生徒安全会への加入などが当青森県支部では順調に進んでおり、今年度においてほぼ完了となります。これもひとえに会員の皆様のご協力の賜と改めて感謝いたします。

今年も職務に励むことを誓いますと共に、皆様にとって飛躍の年になりますよう祈念し、新年のご挨拶とします。

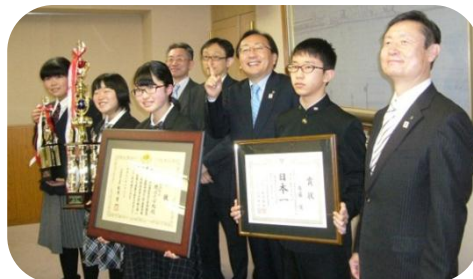


…全日本通信珠算競技大会… 青森県知事と東北町長に優勝を報告

東北町長へ優勝報告 平成28年11月24日、28年度全日本通信珠算競技大会で優勝したメンバーが東北町役場を訪れ、斗賀寿一町長に優勝を報告しました。訪問したのは、団体競技・小学校の部で6年ぶりに優勝した東北町立蛭沢小学校チームの吹越優衣さん、細田菜生さん、下田真旺さんの3名。指導した小川原光治先生が選手たちを紹介した後、3人が感想を述べました。吹越さんは「3人同じクラスの友達なので良い思い出ができた」、細田さんは「点数を落とした私を仲間がカバーしてくれた」、下田さんは「家族が支えてくれたおかげで頑張れた」と話していました。最後に3人と斗賀町長、小川原先生と一緒に記念撮影し面談終了となりました。



青森県知事へ優勝報告 平成29年1月10日、青森県庁に三村申吾知事を訪ね、団体競技・小学校の部で優勝した蛭沢小学校6年生の吹越優衣さん、細田菜生さん、下田真旺さんと中学校の部・個人総合で優勝した三沢市立第一中学校3年生の斎藤俊君が日本一を報告しました。工藤壽和本部理事が面談許可のお礼を述べて大会の概要を説明、指導した小川原光治先生と斎藤拓哉先生が選手たちを紹介しました。5年ぶりに個人優勝した斎藤君は「高校生になっても優勝を目指して頑張っていきたい」と抱負を語ると、知事は「中学生、高校生になっても頑張ってください。また報告を待っています」と選手たちを励ました。最後に中村充青森県教育長の音頭でリングジュースで乾杯し記念撮影、さらなる飛躍を知事に誓い面談を終えました。



検定試験 **十段合格者**

376回検定試験(平成28年11月27日施行)

《暗算》

細田菜生、山崎 咲、熊野美玖(三沢地区)

テレビ出演でそろばんを PR

📺 RAB ラ・テ 2016 平成28年10月29日(土)、三沢第一中学校3年の斎藤俊君がテレビに生出演しました。テレビとラジオ同時生放送の「RAB ラ・テ 2016」は、年に一度の特別番組で、今年で3回目の放送。午前から夕方までの長時間の放送で、俊君は12時30分からの出演でしたが10時にはすでに放送局入り。斎藤拓哉先生と共にスタッフとの打ち合わせを行いながら、準備を整え本番を待ちました。いよいよ本番となり、「青森ナンバーワン大集合」というコーナーに登場。タレントの十日市秀悦さんが俊君を紹介しました。



まずフラッシュ暗算を披露。3ケタ15口2.5秒に挑戦し、見事正解すると番組スタッフの皆さんもびっくり！驚きの声をあげました。続いて掲示暗算、5ケタ30口を30秒で果たしてできるのか…！豪華賞品が当たるクイズ形式で、視聴者が○(できる)か×(できない)かを投票してから挑戦。結果は見事に正解し、そろばんの凄さ、魅力を見せつけました。応募者のほとんどが正解でしたが、相当数による抽選となり視聴率の高さをうかがわせました。

📺 RAB・ZIP! FRIDAY 平成28年12月2日(金)、午後3時50分からの番組「RAB・ZIP! FRIDAY」で日本のそろばん少年の見出しで三沢珠算塾を取材した番組が放送されました。取材は前々日から2日間にわたって行われ、中身の濃い内容となりました。まず、三沢珠算塾が近隣小学校の児童5人に1人の450名が習っていることや、全国トップクラスのレベルにあることがテロップで流れ、斎藤俊君はじめ12名の塾生が紹介されました。次に練習中の様子が映し出されました。そして、両手を使って計算している場面が大写され、繰り上がりの珠を左手でいれているところが、アナウンサーに注目されていました。また、野球の打率の計算やスーパーマーケットでの買い物の計算など、珠算式暗算の凄さを面白くわかりやすく伝えていました。ハイライトは、俊君がフラッシュ暗算に挑戦したところ。3桁15口2秒を正解。これができるのは、全国の中학생で俊君だけだそうです。運動神経にも優れ、陸上競技の選手としても活躍中の俊君。珠算との両立に「大変でしょう？」とアナウンサーに問われ「それほどでも。負けず嫌いな性格なので」と謙虚に答えていました。「俊君だけでなく、出演した12名全員が凄かった！」と番組スタッフのみなさんも感嘆の声をあげていました。

フラッシュ暗算実習会 西北五地区：三上多恵子

平成28年10月16日(日)、支部事務所において「フラッシュ暗算実習会」が行われた。各地区から20名ほどの先生方が参加された。パソコンは自分にはできないと思われている方の中には、スイッチがどこにあるのか、キーボタンを間違えて押すと壊れてしまうのではないかと考えて、パソコンはあっても触ることすらしなかった方もいらっしゃるのではないだろうか。今回の実習会では、パソコン初心者を対象とした内容になっており、無理なく参加者に合わせて、誰にでも暗算ソフトを使えるように工夫されていた。①パソコンと部品をつなぐ ②パソコンの電源を入れる ③マウスの使い方の練習 ④フラッシュ暗算のソフトを開く ⑤開始ボタンをクリックする ⑥フラッシュ暗算を終了させる ⑦パソコンを終了させる。以上のように①～⑦の手順で実習会は進んでいった。マウスの使い方では、『クリックは左ボタンを人差し指で1回押す。ダブルクリックは、2回押す。右クリックは、右ボタンを中指で1回押す。矢印を動かしてみる。』といったように、マウスの使い方ひとつにしてもイラスト入りで説明されており、それを各自で実践するという具合であった。



いよいよフラッシュ暗算ソフトを開いて、動かすための実習に入った。ソフトのインストールは、支部の方々が入れてくださったので、あとは画面通りに進んでいくと動かせるようになっている。問題出題数や入力方法の変更の「環境設定」や「連続出題」「級別出題」については、指導によって変えることになるが、暗算ソフトは動かせるようになったのではないだろうか。次に、「トラブル対策」についてである。フラッシュ暗算を操作していく中で、さまざまなトラブルがあり、パソコンに苦手意識がある程、どうしていいかわからなくなる。それが、パソコン離れにつながるような気がする。今回の実習会では、頻度の高い場合を抜粋して、原因と対策をプリントを見ながら説明していただきながら実践した。それぞれの先生方が、教場に戻られてからフラッシュ暗算を取り入れていかれると思う。その中で、疑問やトラブル等があった場合、支部では対応してくださるとのことだった。約2時間の短い時間ではあったが、実りのある実習会だったと感じられた。

各地区大会・表彰式の日程

- 2/19 弘前地区大会・優良生表彰
(弘前文化センター)
- 2/26 三沢地区大会・優良生表彰
(三沢市公会堂)
- 3/5 青森地区大会・優良生表彰
(リクステーション青森)
八戸地区優良生表彰
(八戸グランドホテル)
十和田地区そろばん甲子園
(通信制)
- 3/12 西北五地区大会
(五所川原中央公民館)
- 3/19 むつ地区優良生表彰
(下北文化会館)



